

指定管理施設評価 年間評価シート

令和6年度評価 (令和7年度実施)

1. 施設概要

Table with 4 columns: 施設名, 所在地, 指定管理者, 指定管理者所在地, 指定期間, 利用料金制, 施設所管課, 施設分類, 施設管理型, 選定方法, 主な業務内容, 電話. Includes details for 三田市総合福祉保健センター.

2. 指標

Table with 4 columns: 施設の設置目的, 管理運営における基本理念, 評価指標 (施設稼働率, 総合案内), R6年度, R5年度, R4年度.

3. 管理運営状況

Table with 6 columns: 項目, 詳細, 現指定管理者 R6年度, 現指定管理者 R5年度, 現指定管理者 R4年度. Includes facility usage statistics and financial statements.

Table with 4 columns: 利用者満足度調査結果, 実施時期, 回答数, 主な調査内容及び満足度. Includes survey results for 6年8月~9月.

指定管理施設評価 年間評価シート		令和6年度評価 (令和7年度実施)	
施設名	三田市総合福祉保健センター	施設分類	施設管理型
指定管理者	社会福祉法人 三田市社会福祉協議会	施設所管課	健康福祉部健康増進課

4. 各項目における評価内容

評価の観点	評価項目	項目区分	指定管理者セルフ評価	市評価
I. 基本的なサービスの提供	(1)施設運営に係る協定事項の遵守	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)利用者の安全確保	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(3)利用承認、案内等の対応と接遇	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(4)市、関係団体、地域等との連絡調整	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(5)施設の目的に沿ったサービスの提供	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(6)目標の達成度	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
II. 施設の管理	(1)建物保守管理・設備機器類の安全管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)収納・文書・備品の適正管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(3)清掃・衛生管理・警備	適正管理	3 適正	3 適正
	(4)指定管理者が行う修繕	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(5)コスト削減、環境配慮の取り組み	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
IV. 満足度向上への取り組み	(1)苦情等への対応	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(2)利用者獲得及び収入増加に向けた取り組み	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(3)利用者ニーズに応じた改善	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(4)利用者の満足度	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
			得点率	75%
			総合評価	A

(得点率=評価項目の評点の合計÷満点×100)

適正管理【3段階】	サービス効果【5段階】
3 適正	5 優れている
2 課題有	4 やや優れている
1 要改善	3 標準
	2 やや劣っている
	1 劣っている

該当しない評価項目は斜線表示とする



得点率	→	総合評価
概ね80%以上 ※	→	S 優良
概ね70%以上 ※	→	A 良好
概ね60%以上 ※	→	B 標準
概ね50%以上	→	C 要努力
概ね50%未満	→	D 要改善

※評価項目に1つでも1の評価がある場合は、C以下とする

5. 総評

<p>指定管理者による所見</p> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標としていた「健康」「福祉」の拠点づくりとしては、ミニふくしまルシェの参加事業所の増加や、「自殺対策強化月間」に合わせ自殺対策動画の放映、小学生に向けたユニバーサルデザインツアーの実施など、「健康」「福祉」を施設の目的の中心としたうえで、施設の認知度を高め、幅広く利用を広めていけるよう取り組みを行った。また、利用者の立場に立った対応、合理的配慮の実施に取り組むなど、多様な人がつどい、活躍できる共生社会に向けた場づくりなど積極的な取り組みの実施ができたと考える。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設サービスの質や量の増加に向けた取り組みを実施しているが、貸室利用、利用料の増加へ繋げることが難しい。施設の設置目的である「市民の福祉の向上と地域福祉活動の促進を図り、併せて市民の健康づくりを推進する。」という点において、成果でも述べた取り組みによって福祉向上を促進することが出来たと考える。一方で、合理的配慮に対する理解を深め、適切な対応を行うために合理的配慮に関してアドバイザーなどから助言などを頂きながら、利用者、職員を含めて誰に対してもさらに利用しやすくなるように、適切な環境作りが課題である。 <p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の役割や目的をより広く周知し、利用者の「健康」「福祉」への関心を高められるように、DVDを活用して、乳幼児健診
<p>市による所見</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の立場に立った対応、合理的配慮の実施に取り組むなど、多様な人がつどい、活躍できる共生社会推進に向けた市民の理解促進に取り組んでいる。 ・施設の管理運営については、老朽化した施設の修繕対応等適切に対応している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度を向上させ、施設の稼働率を増加させる事が求められる。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き子どもからお年寄りまで、誰もが親しみやすく、利用しやすい施設となるよう環境を整え、さらなる利用者の増加を図る必要がある。